

# 日新

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに  
 日日新 ひび あら 日々に新たに  
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり

出典 「大学」

# 日新地区だより 70号



「ゆめ・にしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：まちづくり日新 広報部会  
 福井市文京5丁目1-8 日新公民館  
 発行日：令和6年(2024年)6月1日

## 「2024年問題」から「さんさんバス」を守ろう！



5月でコロナウイルス感染症が5類に移行してから1年が経ち、「コロナは普通の風邪」と同じに扱われます。今年のゴールデンウィークでは家族旅行やインバウンドが伸び、日本各地に観光地に人が集まり、活気づき景気が回復したように思われました。しかし、円安の為に物価が急上昇し財布の紐は固かったようです。このような中にもかかわらず、政府は長年足踏み状態であった労働賃金や労働条件を一気に改正しようとして

日本社会ではひずみが生じているようです。

その一例は、4月からの労働基準法の改正で、バスやトラックの運転手の労働時間の規制が強化され、運転手の1日の拘束時間が原則13時間以内となるなどの規制が適用され、長時間労働の是正が期待される一方、労働時間が減ることによって人手不足が生じています。いわゆる「2024年問題」です。

福井でも、6月1日から、京福バスは、9路線計242便を減便とすると発表されました。影響はそれだけにとどまらず、自治体が運営する「コミュニティーバス」にも及びそうです。さしずめ日新地区を走っている「さんさんバス」への影響が心配です。



また、5月15日はセブンイレブン1号店開店から50年になりますが、コンビニは営業時間が長くいつでも利用出来る、住宅近くにある、さまざまな物を買うことが出来る。以上の3点が利点でありました。それが、一番の売りである24時間営業が黄信号になってきています。

## 7月3日から新しい紙幣が登場する



7月3日から、1万円、5千円、千円の新しい紙幣が流通を始めます。

これらの紙幣は、過去150年間にわたる技術の進歩とノウハウを集約させたものであり、特

にセキュリティ面での強化が図られている点が特徴です。新紙幣の導入は、単に新しいデザインを市場に投入するという意味を持っています。

それは、経済の安定と成長を支えるために不可欠な、貨幣の信頼性と安全性を向上させる戦略的な動きと言えるでしょう。新紙幣によって、国民や国際社会からの日本円への信頼が一層強化されることが期待されているのです。しかし、今、キャッシュレスを推進していることに反するかもね？

- 1万円札・・・渋沢栄一
- 5千円札・・・津田梅子
- 千円札・・・北里柴三郎



「ゆめにしん 67号」に掲載しました和田啓崖(けいがい)さんが、長年の福井県内の書道文化の発展に貢献された書道家として、今年の福井県書人連盟第27回福井県書道文化賞を受賞されました。おめでとうございます。

## 新しい主事さんの紹介

今年の4月から公民館に新しい主事さんが着任されました。川端美帆さん(42才)です。お住いは隣の西藤島地区です。以前は洋服関係のリサイクル店にお勤めで、編み物や洋服を直したりするのが得意とのこと。公民館の主事さんに応募した理由は「人と会話することが好きだから、公民館では色々な方とお話し催し物を皆と一緒に挑戦していきたいです。」と答えていただきました。また、「高校時代に同人誌(アニメのセル画の制作)を作っていたのでイラストを書いたりいすることでお役に立てたらと思っています。」とも言われました。是非お願いします。



## 令和6年第43回日新区民体育大会

5月19日(日)の午前中に日新小学校で今年の区民体育大会が行われました。快晴とは言えませんが、熱中症などの事を考えると程よい気温と風が吹いている中(運動会日和?)参加者は昨年より僅かに少なくおよそ700人で、マスク着用者は約1割でした。例年との変更点は、最近の自然災害多発から「防災レース」を新設、時間短縮のため小学生各学年の競技を全て徒競走にしたことです。今年も、世代を超えて地域の絆を強める一大イベントの大会も、皆さんの満足した笑顔で無事に終わりました。企画・準備・運営された方々お疲れ様でした。



「さーいよいよ始まるよ〜」



開会の挨拶



怪我の無いように準備体操



新競技「防災レース」



迷子かな?



砂煙すごい大縄跳び



進行係は陰の立役者!!



玉入れ



応援も頑張ってるよ



走る姿もすっかり、さすが6年生



大人と子供の共同作業?



こぼさないで



おいそな色のお水?



子供から大人へのバトンを繋ぐ「人生レース」



一等自転車、見事ゲット!



優勝 来年もガンバルゾ!!

## 神明神社の神幸祭 (おしんめさんの春祭り)

毎年5月初旬は福井市内で各神社の春祭りがあり、日新の乾徳地区ではおしんめさん(神明神社)の春季例大祭がゴールデンウィーク中に開催されました。お祭りのシンボルである鳳輦・神輿渡御(鳳輦と神輿が地区内を回る事)があり、地域の人と共にお祈りします。

神輿とは、祭りの時に神様が地域内を回る為に乗る「輿」(乗り物)のこと。半纏と呼ばれる祭り衣装を身にまとった担ぎ手たちが、神輿を肩に担ぎながら神社近隣の地域を回り、災厄や穢れを吸収して清めたり、人々の豊作祈願や願いを聞き入れたりするために行われるものです。しかし、年々氏子は高齢者が多くなり、神輿の担ぎ手が少なくなってきました。それでも10年ほど前は担ぎ手を氏子+アルバイトで行っていましたが、その後はトラックに乗せての巡回になってしまいました。しかし、今年は少し違いました。



4月中旬に神明神社の方に聞いたところ「今年は御鳳輦渡御が、大正11年の新調渡御(新しく神社から出る)曙矢(始まった時)から100年目に当たることより、神輿も鳳輦もトラックではなく台車に乗せて氏子(装束を着る)が引く(担ぐ?)」との事。例年とは少し厳かに感じました。



この**スマホ老眼**とは近くを見続けているとピントが固定され、遠くが見えにくくなる病気です。休養・点眼で改善しますが、重症化すると治りにくくなります。症状が出てもしばらくすれば治っている期間がありますが、その間に治療することをお勧めします。

また、メガネ・コンタクトレンズを強くすると一時的に見えるようにはなりますが、眼の状態は悪化していきます。特にネットでコンタクトを購入している方はこの状況に陥りやすいのでご注意ください。

今までもあった病気ですが、年々増加しています。紙より電子機器使用時に起こりやすいため、携帯電話・タブレット・ノートパソコンを見る時間の増加が原因と考えられます。

### 治療法

- ① 携帯端末の使用制限
- ② 画面はできるだけ遠くに、できるだけ大きなものを使用
- ③ 使用時はできれば画面に手が届かないように離して
- ④ 携帯電話・タブレットよりPC・テレビを使いましょう
- ⑤ ノートパソコンは画面が近くなりがちなので、できればデスクトップを使いましょう。



以上のような事に注意して頂きたいですが、携帯・タブレットを使わない生活には当面は戻れないと思われます。上記の①～⑤のことをできるだけ守り、上手につきあうことが大事です。

技術革新により眼への負担が少ないデバイスが登場するまでなんとか乗り切りましょう。

以上、文京6丁目 まつだ眼科さんからの提言です。

## リニューアルされた市立図書館(さんさんバス停留所「市立図書館」)



改修のため令和4年から休館していた市立図書館が5月1日にリニューアルオープンしました。5月7日に「さんさんバス」を利用し、新停留所「市立図書館口」で降車。早速、館内を図書館統括館長の西行裕さんに案内してもらいました。館内は東側が図書館、西側が地域交流センターの併設になっています。今回のリニューアルした図書館の1階は書棚が並ぶ中に、児童室、雑誌コーナー、ティーンズコーナー、おはなし室(読み聞かせ等の部屋)、グループ学習室、対面朗読室(音声読み上げ・文字拡大機器が設置)が整備されています。2階は郷土資料、新聞コーナー、「吹き抜け書棚」が中央にあり、開放的な空間になっています。交流センターはラウンジ、屋外(テラス)につながる広場、120名収容の多目的ホール(静かな楽器によるコンサートも可)、少人数(30名まで)が集まって活動の出来る活動室が備えられています。



館長に今回リニューアルした図書館のアピール点をお聞きすると「地域交流センターが併設されていることで、今まで図書館に足を運ばなかった方にも利用していただけること、テラスなどで飲食が可能なこと、そして現在の蔵書数はおよそ44万7千冊ですが閉架書庫(旧福井藩主

松平家から寄贈の「越国文庫」などの貴重な書籍や未陳列の書籍の書庫)を含めると72万冊まで収容可能なことです。」と言われました。

新しい図書館は、内装に福井産の木が使われ、心が癒され和みます。窓際や屋外テラスで読書を楽しみ・みんなで集い・



学習し・交流のできる場所になることでしょう。是非「さんさんバス」で訪れてみてください。

田鏡に蛙の鳴き声が聞かれる頃になってきました。日新地区でもそれを楽しむことが出来そうです。田植えが終わり、夏野菜も植え、富作を目差して大事な管理作業に入りました。さて、当地区のまちづくりの主となる底喰川の清掃美化活動に目を向け、現状を見ると、今年も雑草との大変な戦いが必要となる状態にあるようです。近年、自分を含め少子高齢化を感じますがウクライナが「武器戦力が欲しい」と言っているのと同様に、我々には雑草と戦う同志が部会に入って欲しいと願います。雑草に負けそうな状態です。部会の近々の作業予定を紹介します。



5月26日の定例清掃はミソハギと花壇植え込みの雑草取り、ミソハギ周りの草刈り、

6月20日は福商生のボランティア受け入れの対応、平時では有志は随時にゴミ拾いを行う。

6月30日の定例清掃もほぼ同じであるも、雑草除去、ゴミ拾い、そして花苗の入れ替えを続けるそして、8月のミソハギ花まつりを盛大に行えるように努めていきたいと考えています。宜しくお願い致します。

### さんさんバス促進説明会開催される

交通部会一部員より

「まちづくり総会は5月31日に開催では遅い！」



コロナ感染症の収束の兆しが見え、少しずつ「さんさんバス」利用者数が増えてきたが、ここに来て、円安・労働基準法の改正により、5月末の「京福バス242減便」の報道で「さんさんバスも廃止？」が頭の中を過った。矢も楯もたまず、26日の午後、公民館で「さんさんバス促進説明会」に参加した。来賓として市議会議員の津田かおり氏、市役所地域交通課の木内氏を招き、日新地区の運営審議会委員、自治会連合会、健友会、社会協議会のそれぞれの代表も招集し、「激励挨拶」をした。各氏の挨拶内容は、「同じような他の地域のコミュニティーバスは単にバス路線を走らせているだけで、我が街日新の様に利用促進のためのいろいろなイベント企画（映画会・日帰り佐野温泉・お茶会・ドンキ廻り路線など）をして運営している所はない。このバス事業を終わらせないためにも、住民の皆さんに利用してもらいたい。」と同じ思いを告げられた。そして交通部会長の山口満氏は「イベント企画の推進は必然的にさんさんバスの利用実績を上げるためだけではなく、超高齢化を迎えている中で自ら移動し用事を済ませること、友達と会話することは心身の健康を保つためにも非常に重要なことである。そして交通部会だけではなく、みんなで来年9月の第3次査定を乗り切りましょう。」と思いを述べた。最後に交通部会協力サポーターの中田氏による「みんなでさんさんバスを続けよう!!」のシュプレヒコールで締めくくった。コミュニティーバスをなくせば高齢者は物理的に移動手段がない、本来不要かもしれない介護サービスを積極的に利用せざるを得なくなり、介護保険の財政も厳しくなる。行政は健康寿命を延ばすことこそが財政の安定であることを認識して欲しいものである。



### まちづくり三部会の悩み

広報部会長 野村 勉

ご存知のように「まちづくり日新」の三部会は環境・交通・広報からなっています。環境部会は底喰川とその周辺の美化（自然への取り組み）、交通部会はコミュニティーバス「さんさんバス」の運営促進（地域の足）と大変な活動であります。広報は情報誌（ゆめにつしん）の発行であります。

そして、今はそれぞれ難題を抱えており、環境は作業する人の人員不足、交通はバスの乗車人数を増やし、継続して事業を続ける事（査定が近い）、そして広報は「いかにタイムリーに情報を提供できるか」であります。今の世の中は、次々と課題・難題が湧き上がり、瞬く間に消え過ぎていくことが多くあります。これを紙の媒体「ゆめにつしん」でタイムリーに提供することは大変困難であります。今回も5月末の出来事（さんさんバス促進説明会）を直ぐにでもお知らせしたいのです。今回の配布時期は6月初旬で何とか間に合いそうです。毎回ドキドキです。どなたか良きアドバイスを知らせてください。

